

## 会 議 録

会 議 名	令和4年度第1回子ども・若者会議	
開 催 日 時	令和5年2月10日(金) 午後1時30分から午後2時33分	
開 催 場 所	東浦町役場 合同委員会室	
出 席 者	委 員	原田委員(会長)、恒川委員、岩尾委員、山崎(宏)委員、石川委員、山崎(紀)委員、友永委員、関委員、増田委員、岡本(貴)委員、水野委員、中西委員、加藤委員、深谷委員、梶山委員
	事務局	健康福祉部長、教育部長、児童課長、学校教育課長、生涯学習課長、子育て支援センター所長、指導保育士、生涯学習課課長補佐兼生涯学習係長、児童課保育係長、児童課児童福祉係長、児童課保育係主事、児童課児童福祉主事
欠席者	岡本(嘉)委員、井上委員、吉田委員、石原委員	
議 題 (公開又は非公開の別)	1 東浦町子ども・子育て支援事業計画の進捗について(公開) 2 青少年対策事業について(公開)	
傍聴者の数	1名	
報 告 内 容 (概 要)	1 会長・副会長選出 2 会長あいさつ 3 議題 (1) 東浦町子ども・子育て支援事業計画の進捗について (2) 青少年対策事業について 4 その他  ※事務局からの報告等及び委員からの意見等は別紙のとおり。	

別紙 報告内容 (概要)

事務局	<p><u>議題1 東浦町子ども・子育て支援事業計画の進捗について</u> 東浦町子ども・子育て支援事業計画の進捗について事務局より説明。</p>
	<p>&lt;質疑意見等&gt;</p>
委員	<p>3年前の会議で、達成度とかはなるべく達成できる目標を掲げていこうという話がありました。達成度がA・B・C・Dとあるが、80%以上でAというところで、計画に定めている内容の9割とかそれは達成していなくてもAとして満足で終わるものなのか、100%いっていないから達成しなくてはならないかという根本的なところを確認させていただければと思います。また例えば、3ページの「一時預かり事業」のコロナの影響でリフレッシュ保育を中止しても達成度Aとなっていますが、そもそも目標としてどうだったのかと、影響を受けているのにAというところは目標として正しかったのかというのが気になっています。</p>
事務局	<p>今回の第2期の事業計画に基づいた施策の展開、またそれに対する評価、できたのかできなかったのかを皆さんに確認していただきまして多角的な意見をいただく場がこの会議となると考えています。取り組み内容をみると数値化が難しい事業が多々あるとは思っています。数字をクリアしたから評価がAなのか、抽象的な表現のなかで評価をするのは難しいと考えております。今後この計画は5年計画で来年度からニーズ調査を始めまして、令和6年度には第3期を作るタイミングです。その中では抽象的な表現から具体的な目標を掲げると評価しやすくなるのではないかと委員の意見を踏まえたうえ、次回の計画に反映していきたいと考えております。2点目について、中止した一時預かり保育の要望が多くありました。今年度はコロナの影響を受け保育園もクラス閉鎖や学年閉鎖をしましたが、ニーズの高い一時預かり事業は影響なくできる範囲で預からせていただきました。今回影響はあった1ですが、可能な範囲で実施できたAで評価をさせていただきました。はっきりしたボーダーラインがないのは課題だと思っており、次回以降の計画の中で考えていきたいと思っています。</p>
委員	<p>1年ごとに実態と合わないものは見直していく、5年間で途中でも見直していくと話があったと思いますので、5年という期間にこだわらず実態と離れたものがあつたら見直しをしていったらと思います。</p>
委員	<p>「家庭教育講演会」の参加者がいなかったということですが、どのような方法で参加者を募ったのか。広報とか回覧板を使ったのか。もう一つ「家庭教育講座」も同じように参加者が少ないなということがあったので、町としてあらゆる方法で参加者を募って、こちらから積極的にお願いしたりそういう手を使ったほうがいいかなと思うのですがどうですか。</p>
事務局	<p>「家庭教育講演会」の募集方法につきましては、広報誌に掲載、またホームページにも掲載して募集いたしました。残念ながらもなかったため中止となりました。今後は「家庭教育講座」でひとつにしてやっていきますが、「家庭教育講座」につきましては、各小学校と連絡を密にとって父兄の方に集まっていたいただいて実施をしてお</p>

	りますので、たくさんの方に集まっていたいで行っていけると思っております。
委員	一般の皆さんに東浦町のホームページを検索している人は、どのくらいですか。あまりホームページ使っていない気がします、利用率がどのくらいあるのか。いろんな発信というのは、細かく発信やらないと目を通さない人がいる。そういう人にも目が届くようなことを町としてやっていただきたいと思う。
会長	皆さんの課で、ホームページの見た数とか回覧数が判りますと答えられる方は今答えていただいて、答えられない場合は宿題にさせていただいて。答えていただいて、出来ますでしょうか。
事務局	システムについては今確認いたします。「家庭教育講演会」の周知の方法は、広報・ホームページで周知を行い、文化センターにポスターを掲示しましたが、反響がなかったということで地区コミュニティセンターに貼りだしをし、PTAの方が集まる機会があるごとに担当の者が行きチラシを配ったり、学校にも働きかけをしたのですが、難しく今回はということになりました。来年度以降は家庭教育事業に集約していく考えですが、現在各校に年1回ずつ講演をしておりますが、内容を少しグレードアップまたはプラスアルファで行っていきたいと考えております。よろしくお願いします。
委員	案というか、思ったことを伝えてしまうと、今年から小・中学校で生徒が今日お休みしますとか、遅刻しますとかネットのアプリで申請するということになって、学校通信とかお知らせをアプリで届くというのを、学校で始まっていますので、学校の生徒に届けるのであればそのアプリとかを使えばいいのではないかと。今全員に導入されてしまいましたのでそういうことをしていけばいいのではないかと思います。
事務局	資料2の1ページ個別施策が書いてございます「子ども・子育て支援に関する調査と事業研究」では、実績として紙媒体を電子配布としたところでございます。「絆ネット」というアプリを導入しまして、これまで紙で配布していた園だより・クラスだよりを、電子的にスマホで連絡する形で行っております。対象を絞って周知の方法を広報やホームページ以外にもしていく必要があります、ターゲットに周知を図りたい場合はアプリを使っていくことをあわせて考えていきたいと思っております。
委員	「家庭教育講演会」の対象者は小学校の保護者でしょうか。
事務局	「家庭教育講演会」の対象者は、最初は保護者・教員ということでしたのですが、なかなか集まらなかったものですからどなたでもということで対象を広げさせていただいております。
委員	以前にあった「親子講座」に申し込んだことがあります、やはり集まらず講座は開かれませんが、中止になりましたと連絡がありました。対象を小学生だけじゃなくて、小さなお子さんをお持ちのお母さんたちは悩んでみえるので、募集の幅を広げてはどうでしょう。保育園前のお子さんを持っている方がどうやったらいいのかと

<p>会 長</p>	<p>いう悩みを聞きますので、興味のある方は参加して下さると思うので、募集の幅を広げるという方法もあると思います。もうひとつは、文化センターに集まってくださいというのは、新田とかお母さんたちで足のない方もみえます。近くの小学校でありますよ、どうぞいらしてくださいというのと集まりが少しは違うのかなと期待が持てるのかなと思っております。</p> <p>それでは対象の幅を広げていただくという話と、近いところで講座とかを開催していただきたいとふたつ意見が出ましたので、ご答弁をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>「家庭教育講演会」に関しましては、PTAを対象にということで考えておりましたので、これまでは小学校中学校を対象にやらせていただいております。もう1点文化センターでなく各地区でというお話ですが、来年度からバージョンアップさせていただく「家庭教育推進事業」はそれぞれの小学校で行っておりますので、小学校に通ってらっしゃるお子さんの保護者が集まりやすいのかなと。今後は「家庭教育講演会」がなくなってしまうので、それぞれの小学校での授業に力を入れていきたいと思っておりますので、近場の小学校でお集まりいただいてそちらでと考えております。</p>
<p>委 員</p>	<p>小さいお子さんをお持ちの方が小学校の中とかどうなっているのか興味があるので、学校の中が見えるという興味でみえる方もいるかなと。これはそういう話を聞きましたので、お知らせまでです。</p>
<p>事務局</p>	<p>ホームページのアクセス数が来ました。令和4年度4月から1月になりますけども、930,254件で、参考にですね令和3年度4月から3月ですが1,443,376件。これで見ますと、おそらく昨年度以上のアクセス数が見込めるのじゃないかなと思います。周知というところでは課題に感じるところでございますので、ホームページだけではなく各施策ごとに考えていく必要があるかなと考えております。</p>
	<p><u>議題2 青少年対策事業について</u>      青少年対策事業について事務局より説明。</p>
<p>委 員</p>	<p>青少年対策事業についてはコロナの影響があったのかなかったのかが。なかったのか、無事乗り切ったのかが1点目、続いて2点目令和4年度第4回親子ふれあいイベントが実績として報告がありましたが、5年度計画にはないというところで、廃止なにかしらの理由があつてなくなってしまうのかまだ未定なのかが2点目、3点目は町内小中学校及び高等学校訪問となっていました。来年度から東浦高校の敷地内に千種ろう学校の新しい分校が開校するというところで、校内に新しく学校が増えるというところでそちらも行ったほうがいいのか思っているのですが。その3点を確認させていただければと思います</p>
<p>事務局</p>	<p>まず1点目の令和4年度にコロナの影響があったかということでございますが、令和3年度までと比べまして行事は影響なく青少年事業行えたかなと思っております。2点目の親子ふれあいイベントについてですが、令和5年度の計画案のほうにはまだ載せてはおりませんが、大変参加者からは好評いただいているイベントです。</p>

	<p>高校生スタッフのアンケートでも「非常に参加してよかった」という話もいただいておりますので、計画には載せておりませんが、検討のほうはしていきたいと考えております。続きまして3点目のろう学校につきましては、全く計画には考えておりませんが、これから検討させていただこうと思っておりますが、今度新設されるろう学校の対象学年が幼稚園と小学校と聞いておりますので、その学年が補導とか青少年の非行とかの内容で訪問するべきかどうかというところも踏まえながら、学校と相談させていただいて考えていこうと思っております。ありがとうございました。</p>
委員	<p>ろう学校の年齢が低いというところがありますので、青少年対策としてやっていくのかというところだと思いますが、他の小学校と保育園の事業とか子ども子育て支援計画に関連してくることがあるのではないかと考えておりますので、積極的に実施できるものは実施していただきたいなと思っております。</p>
会長	<p>他にございませんでしょうか。 とくにないようですので、議題の審議を終了させていただきます。 次に4のその他についてですが、全体をとおしても大丈夫ですが、なにかご質問がある方はお願いします。</p>
	<p><u>次第4 その他</u></p>
事務局	<p>事務局から事務連絡となりますが、来年度の子ども・若者会議ですが、令和5年度におきましては2回実施を予定しております。第3期の計画を作るうえでニーズ調査を来年度用意しておりますので内容を検討中でございますので、時期については未定でございますが、会議自体は2回を開催予定しておりますのでよろしく申し上げます。</p>
委員	<p>子ども・若者会議って児童にあてはまると思います。児童というのは誕生から高校生・青少年期となっていますよね。児童館はお年寄りも全部が対象となっていますよね。今は、小学校と就園前の子たちの利用がほとんどで、保育園の子はたまに来る、中学校はめったに来ない、高校生は全くないという状況です。東浦町の児童館は児童クラブがあるから使いづらいのかもわからないですけど、青少年期の子どもももっと利用したらいいと思っています。じつは私、児童館に勤めまして、何年か前に研修に行ったときには、東京の方では青少年の子たちが楽器をもって演奏したりとかしてるという話をずいぶん前に聞いて、すごいなと思ったんですけど、東浦町の児童館では無理だなと漠然と思っていましたが、子どもの居場所って今凄く言われているので青少年に関して児童館は7時までだけ8時まで居れるよとか、なにかあるといいのになあと漠然に思っています。今後考えていただけるのであれば、そういう子たち特に中学校の子たちが寄ってくれたらいいのにと。ただその時に誰が開けるかという話になるが、そういうことをちょっと考えていただけるとこの会議の意味もあるのかなと思っております。5年か10年と計画を考えていくにはずいぶん時間がかかると思いますが、将来的にはそういう居場所になってくれればなと思っておりますので、ご検討お願いしたいと思っております。</p>
事務局	<p>国のほうも、厚生労働省が先日も新聞で報道されました中学生・高校生の居場所と</p>

	<p>して児童館を活用すべきだと報告がなされました。東浦町も児童館は社会資源のひとつとして、児童クラブの開催される場所として今はありますが、地域ごとに色を出しながら地域の居場所として行っているところがございます。先日情報交換会がございまして、児童館を中心に老人クラブの方々だったり保護者の方々だったり関係者を集めて児童館でなにができるか一緒に考える会議を行いました。やはりそこで中学生・高校生の居場所として児童館があるべきだにご指摘いただいておりますので、今後の検討課題ではございますが、それらを含めて考えていきたいと思っております。</p>
委員	<p>更生保護女性会もボランティア団体ですけれども、去年ぐらいから学校評議員会のほうから、中学校3年生の方への次の高校になると支援がなくなるということで、相談カードを作って、7月1日から8月31日の街頭啓発にも更生保護女性会ももちろん参加しています。なのに補導員が中心となっていて、いてもいなくてもいいようになっているのが心外。今後どんどん会員も減っているのに、活動についてPRしているかたわら報告書には載っていない。カードを作って町の補助金でフリクションペンを一緒に中学3年生に渡しまして、わりと好評だったんです。今年もやってふくし課には報告あげていますが、青少年は生涯学習課でその連携はなにもされていない。同じ報告書が綴られているだけで、あまり意味がないと思うんですが。一応私たちが頑張りましたと報告したからには、却下されたのかもしれないですが、却下されるのであれば啓発運動も防犯パトロールもやる必要がないじゃないですか。勝手にやっていると思われているなら。そのへんの指示はどなたに聞くんですか。私たちも数少ない範囲で一生懸命みんなパトロールして下さっているのに、報告書に揚げてほしいということではないですが、やらなくていい活動ならば少ない人数でやっているのも苦しいです。実際は。青少年に関しては手を離せばいいのか。そのへんがわからない。</p>
会長	<p>いまお話のありました更生さんのほうでいろいろ青少年にやっていただいております。青少年というと文化センターになりますか、教育さんの方ですか。ふくし課さんと連携が取れているのかいないのかの話ですが、どういう風にされているのか、ここですぐ返事ができるのか、宿題になるのか。</p>
事務局	<p>現状の正直なところ申しますと、全く連携が取れていないというのが正直なところなんです。情報が全くこちらにきておりません。こちらの啓発活動も漏れておりまして、たいへん失礼いたしました。そういったお話耳にしましたのでふくし課の方と調整してまいります。大変申し訳ございませんでした。</p>
委員	<p>ありがとうございます。ぜひ連携し、町を良くしようと思っておりますが、人数が限られているので、余分な仕事はやれません。その辺をやれることを絞っていきたくて思っていますのでよろしくお願いします。</p>
会長	<p>来年の報告にはちゃんと出ると思っていますので、期待をしてください。</p>
委員	<p>さきほどホームページ活用の件で件数が出ましたよね。1,443,376件とか930,254件とか。これはその事業を見たアクセス数なののでしょうか。それとも単なる東浦町</p>

	<p>のホームページをみて、違うサービスを受けたいために見た数字なのでしょうか。それによっては、受け方が全然違って、数字だけ見るとすごいねと思いますが、その事業に行っていなかったら意味がない数字だなと思ひまして。どうなんだろうと。</p>
事務局	<p>説明不足で大変失礼いたしました。総数でございますので、その事業にたどり着いているかどうかの指標となる数字ではないんじゃないかと。東浦町のホームページにアクセスした数字がさきほどの4年度であれば93万、昨年度であれば143万の数字でございますので、必ずこの数字がアクセスした方の欲しい情報にたどり着いたかどうかまでは難しいですが、総アクセス数の数字でございます。</p>
委員	<p>思った通りだったんだけど。であるならば、さきほどの質問と回答は全然違う食い違いがあってということなので、広報活動もしっかりしないといけないかなと思ひます</p>
委員	<p>今後システムというのは変更できるんですか。どこに入ったのかの件数の集計ができないですか。そうすると今後の参考の資料なんてね。もしそういうシステムができるんだしたら。検討をお願いします。</p>
事務局	<p>縦割り行政の悪いところで、この数字もホームページを所管している住民自治課から用意させていただきましたので、詳細については数字しか述べることはできませんが、必要なのは施策が本当に必要な人に届くかどうか、その周知方法としてホームページ・広報・個別の通知で、その事業のいいところを欲しい方に届けるというひとつのツールでございますので、そちらを考えながらやっていくべきだと考えておりますし、個別の方に届いたかどうか調べることもわからないですが、きちんと届いたかどうかの成果を見極めていく必要があると考えています。</p>
会長	<p>2名の委員からのお話で、ただ単に総数じゃなくてどこまでいったかという、国で言うと異次元の子育て支援と申しておりますので、できればホームページの数が出ると皆さんに分かりやすいのかなと思っておりますので、ぜひお願いいたします。</p>
委員	<p>緒川の地区で緒川ビレッジという協議会を作っております、有志の方・サロンや居場所を行う施設の人に呼びかけして地域の課題をみんなで考えようという集まりなんですけども、そこに何年か前から児童館の先生も入っていただいたらどうだろうかということで、2か月に1回定期的に会合持っているんですが児童館の先生が入ってくださったことによって児童館が身近になって、一緒に何かできないかなとか、子どもたちを地域の中心にという気持ちがみんなの中にすごく芽生えてよかったので、協議会というのが今どこの地区にあるのか詳しくは分らないですが、正式には緒川しかないんじゃないかともいわれていて、それがどんどん広がってその中には高齢の部門や子どもたち児童館の先生たちという形がとれたらいいなと改めて思ひました。その中でひとつ緒川児童館の前にグリーンラソという居場所をやっているんですけども、児童館の先生とお話してもうすこし行き来ができればいいねというところで、夏休みに寺子屋ラソというのを毎年開いているんですけども今回はそこに高校生や大学生がボランティアにきて、児童館のお子さんや地域のお子さんに宿題を教えたり勉強を見るところをボランティアでやってもらってとても</p>

	<p>充実した時間が持てました。協議会が全部になくてもいいんですけども、児童館ってもっと出入りできるねとか地区の居場所に子どもたちがいたらもっといいねということがもっと広がったらいいのと思っています。先日情報交換会に出させていただきましてうちのグリーンラソでやるイベントのことをお伝えしたところ、とてもよいイベントだということで子どもたちもどうぞということで声を掛けたら皆さん来たいということで、グリーンラソに入りきれないねということで、児童館のホールをお借りできることになりました。たくさんの皆さんにお声がかけられるということで、そこにうちの高齢者や障害者や地域の一般の方たちにも来てくださるということで、自然に交流が生まれるということで、ちょっとしたきっかけで中高生・障害者の方も高齢者の方もということで広がるんだなと改めて思ったので紹介させていただきたいと思いました。ありがとうございました。</p>
<p>会 長</p>	<p>ありがとうございました。皆様のご協力をいただきまして、スムーズな運営ができました。ありがとうございます。今後も子育て支援の行政にご協力いただきますようお願いを申し上げ、以上で令和4年度第1回東浦町子ども・若者会議を閉会いたします。どうもありがとうございました。</p>
<p>事務局</p>	<p>忌憚のないご意見様々いただきましてありがとうございました。児童館のことも生涯学習課のこともいろいろ考えてくださってありがとうございました。また来年度以降も時期未定ですけども2回開催させていただきますので皆様から忌憚のない意見をいただければ。今日はありがとうございました。</p> <p>以上で会議終了。</p>